

見出し	地震で心配なこと、困ること			対 策	誰 が			いつ		
					自分	地域	行政	今から	その時	被災後
自主防災の 立上げ	防災組織を作る	不安なこと ↓ 自主防災組織化が できていない	部落単位の自主防 災をつくること	・今からでもやりましょう！ ・部落会の活性化						
	各単位会との行政 の連絡網の整備									
家の倒壊	家が壊れる ↓ ケガ人が出る	家の倒壊	家の崩壊	・家の耐震診断と補強						
	道路や住宅に被害 が出る	死者や負傷者が出 る								
火災	火災が起こる ↓ 逃げる	火災が心配		—						
山崩れ	山崩れ	山崩れ ↓ 避難する	裏山の崩壊	・森林の保全						
	避難所が危ない									
ライフラインの 確保	ライフラインの寸断 (ガス、水道、電気)	公共道路の被災 (近くにある橋など)	飲料水が確保でき ない	—						
	交通の確保	停電が長いと困る	負傷者を病院に運 べない							
	交通が遮断する	地域が孤立する								
食の確保 (水など)	食物が確保できな い	飲食分	飲物や食料の調達 が困難	・防災訓練の実施						
家族との連絡	家族間に連絡確保	連絡方法がない	長男が広島に いるので連絡が心配	—						
	家族が外出中にど こにいるか心配									
弱者の対応	地震が起こる ↓ 高齢者が多く不安			—						
避難場所	避難場所			・避難場所への看板設置 ・避難場所に取水施設(井戸)を確保(手動)						

見出し	地震で心配なこと、困ること			対 策	誰 が			いつ		
					自分	地域	行政	今から	その時	被災後
命	発生前	大野ダムの決壊時の水位不明		—						
	役場が古い対策本部になり得るのか	役場の耐震強度が心配	地震時の家下のがけの崩壊	<ul style="list-style-type: none"> ・行政防災意識 ・連絡体制 ・恵まれた地域一助けに行く ・自家発電→設備 ・ソーラー無線設備 ・意識啓蒙 ・国指定の防災無線システムは高い ・民間リーダーを育てる 						
建物	住宅密集地に居住しているので火災が心配									
	発生時	避難場所の耐震強度	橋の強度が心配							
	山の崩れの恐れ	古い建物の倒壊	集落への落石							
	道路の崩壊の恐れ	道路が狭いのでスムーズな救助が困難な場面がありそう								
助	発生直後	自分の家族等に被害があった場合、職務と個人のサビ分け	病院・施設など要介護の高齢者が多い一度に何十人も助けることができるか	地域の班分けが出来ている						
	避難道路が不安	医師の確保								
その他	復興時	食料品の供給が行き渡るか心配		—						

見出し	地震で心配なこと、困ること			対 策	誰 が			いつ		
					自分	地域	行政	今から	その時	被災後
山崩れ	いつ起るか	自宅の裏山が崩れる	山津波	<ul style="list-style-type: none"> ・現状の確認 ・ルートを開く ・山崩れ防止の対策工事の今以上の強い要請 ・私たちのところは山の上なので山が流れて危険です ・部落のリーダーをつくり対策をつくっております ・安全な場所に集まる 						
	山崩れがおきて心配	急傾斜指定地域なので地すべりが心配	土砂崩れで孤立する							
生活面	水道が止まると困る	食料を買いに行くのが困る	家の前が一本道で出られない	<ul style="list-style-type: none"> ・谷川からホースを引いて取水する ・行政は頼りにならない ・自分で守る ・ソーラー発電を利用する ・燃料の備蓄(ガソリン、灯油、経由) ・各地区に重機を準備 ・水道、電気、電話はあきらめる キャンプ生活 ・燃料の補給量 検討 ・行政をお願いするしかない 						
	家が壊れて困る	電気が止まる ↓ 夜、暗い	水道が止まる							
	買い物に行けなくなる	電話が止まる(切断)	水道の断水							
	停電で困る	携帯も二人づつする	食料の補給							
	自宅が倒壊するかも？(自分が潰れる)	家が倒壊する	住宅が古いから倒壊の心配							
	道路の崩壊による孤立	病気時に困る								
家族	老人の保護	地域住民に高齢者が多い	家族の安否確認ができないかも	<ul style="list-style-type: none"> ・災害伝言ダイヤルの利用 ・各地区に備蓄倉庫(食料など)をつくる ・近所で助け合う 						
	家族の心配	子どもが心配(南国市)	となりの人が死んじゃったら見に行くのが怖い							
避難先	避難場所を決めても、そこに行けなくなる	逃げる場所がない		<ul style="list-style-type: none"> ・ヘリコプターをかう(山間地域にとっては最後の手段では?) 						
その他	家が大変な状態やったら、仕事に呼ばれるのが怖い	南海地震の時、小学校4年生でした。朝の4時ごろだったと思います。私達は家の中で皆いました。適当な安全な場に避難しました	大きい情報より小さい情報があるか ↓ 地域に根ざした情報がある							

見出し	地震で心配なこと、困ること			対 策	誰 が			いつ		
					自分	地域	行政	今から	その時	被災後
家族の安否	家族の安否確認	離れて住んでいる家族が心配	子どもが学校へ行っている時に地震が起こった場合の安否の確認方法	・家族で話し合っておく (連絡方法・集合場所)	○	○		○		
	家族、身内などとの連絡手段が寸断される	近親者、職場の仲間の安否確認がとれない								
けが・病気	食器棚が倒れてケガをする	ケガをした時に手当てをしてもらえない	アルミサッシの窓が割れてケガをする	・救急箱の準備、応急手当の学習 ・家具の固定等	○	△		○		
	子どもや老人が病気になる場合の医療の心配									
宅地と家屋の崩壊	宅地が崩壊して家が傾く	畑の石積みが崩壊(落石)してケガをする	自宅が倒壊して下敷きになる	・耐震診断・補強・改修	○			○	○	
	家と職場の建物が「ゆれ」に耐えられるか心配	住居の被災	家の崩壊							
土砂災害	土砂災害により道路が寸断される	道路が寸断して移動できなくなる ケガ人の搬送	落石や斜面の崩壊で命を落とす	・危険箇所の周知・確認 対策する				○	○	
	地域の孤立	山津波								
食料・水	食料・水の確保	山間地なので道路が寸断された場合の食料・飲料の確保の心配	水や食料等の身近な情報はどこで得る?	・備蓄する ミルク、おむつ	○	○		○	○	
	食料が確保できない	水道が断水して飲み水、生活用水がなくなる								
避難場所	避難場所までたどりつけるか心配	避難方法、場所	避難場所が分からない	・避難場所の周知				○	○	
	避難場所が遠い	避難場所の耐震強度が心配	避難場所を知らない							
職場への連絡	仕事(行政での役割)と家族との関係?	職場への連絡方法	職場への出勤経路・方法	・職場内で決めておく	○			○		
災害弱者	家が傾き、足の悪い年寄りが部屋に閉じ込められる	ベットのどうする?	小さい子どもの避難方法	・家庭・地域で話し合いをする	○	○		○		
救出方法	近所の人をどうやって助ける? 方法を知らない	救出方法を知らない	倒壊家屋に入って良いかどうかの判断がつかない	・救出方法の学習・訓練	○	○	○	○		

見出し	地震で心配なこと、困ること			対 策	誰 が			いつ	
					自分	地域	行政	今から	その時
被災者のケア	近所の住民との連携ができるのか	近所でケガ人が出た場合、どうするか	ケガ人を運ぶ病院が分からない	・病院側に災害後のシステムをしっかりとってもらう ・近隣の病院の受け入れ態勢をしっかりとってもらう					
被災後の正確な情報をいかに早く知ることができる	正確な情報が入手できるか	地震の時の具体的な予測を知らない		・自治体単位で情報を提供する ・ラジオを活用 ・地区毎の情報が不通にならないように ・まずは行政が検討することが第一					
家族等との連絡	屋間に発生した時、家族との連絡ができるか	家族や社員との連絡ができない	家族との連絡が取れるか？	・NTTの災害ダイヤル等を使う そのためにNTTなどの容量を大きく(確実)してほしい ・高齢者、弱者が伝言ダイヤル等を使いやすくする ・県のH.Pなどで教え方を啓発する					
	家族の安否が心配	家族との連絡方法をどう確保するか							
各戸の耐震について	自分が住んでいる場所の構造上、すぐ避難できるかどうか	私は2階(コンクリート)に住んでいるので、倒壊が心配である	古い木造の家があるので倒壊が心配です	・行政のサービスをみんなに知ってもらう ・避難経路沿いや密集地は優先的に耐震診断を受ける ・みんなで耐震診断をやれば怖くない ・みんな(家族間)で避難場所を決めておく					
ライフライン	トイレの使用ができるか	ライフラインの復旧が速やかにできるか	周りに電線が多く、断線への対応が分からない	・自給できる「力」を備える ・津波の後の水の衛生面を気をつける ・早急に復旧するシステムを ・井戸を公共空間につくる					
	食事・トイレが心配	断水による水不足							
その他	避難場所へ集まる人が分からないこと	避難場所でのトイレが心配	避難場所は知っているが、避難場所の設備内容を知らない	—					
	仁淀川が氾濫した時、天王地区は孤立しないか	仁淀川の近くに住んでいるので、堤防が決壊した時に心配です	津波がくる所に住んでいるので避難場所のある所へどう行こうか！						
	県職員であるが、地元、仕事、どちらを優先すべきか？	近くに鉄道があり、一時的に避難したいが法面がきつくのほりにくい	避難経路を確認していても、遮断されていた場合の別経路の確保						
	道路が狭く、倒壊による通行不能箇所が多くなる	91歳の老人がいる避難場所までどのように連れていこうか	避難場所に行く途中で橋、鉄道橋があるが、倒壊したらどうしよう						
	必要な資材の確保が困難である(現時点での必要なものの判断)								

見出し	地震で心配なこと、困ること			対 策	誰 が			いつ		
					自分	地域	行政	今から	その時	被災後
事前の準備	どこに逃げたら よいか	避難場所が分か らない	避難場所まで行 けるか心配	<ul style="list-style-type: none"> 地域ごとのマップ(独居、老人)を作成 耐震診断を受ける 家具の固定 家屋の補強 家族への連絡方法 家屋補強のシステム作り(値段) 						
	補強に費用がか かる	木造住宅の耐震 が不安								
まず生きのび るために	家が倒れる	火災の心配	家が潰れる	<ul style="list-style-type: none"> 防災グッズの常備 笛を常備 発電式ライトを常備 2階で寝る パール等の救出物資の常備 						
	ガラスが散乱す る	家具が倒れる								
共助	家に押し潰され る	助けに来てくれ るか心配	町道・県道の崩 壊	<ul style="list-style-type: none"> 災害時、要支援者(障害者、高齢者)の把握と助けるシステム 自主防災組織(佐川町は自主防災組織4つ) 近所三軒両隣りの支えあい 						
	裏山の崩壊	孤立								
公助	二次避難場所での生活	衣料品が心配	物資の搬送	<ul style="list-style-type: none"> 事後のケア PTSDへの対策 						
	食料品不足が心配	電気・水道等のライフラインの切断								
連絡網	防災無線は機能するか	公衆電話の数が減少		<ul style="list-style-type: none"> 連絡手段の確保 						
危機感	地震に対する認識が低い 昭和南海地震で倒壊しなかったので大丈夫という考え方がある			<ul style="list-style-type: none"> 常に危機意識をもつ 						